

週 報

1995年6月18日 聖霊降臨節第3主日

巻16 12号

1995年度教会主題

「恵みに生きる」

聖句 すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。

コリントの信徒への手紙 二 12章9節a

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 一人一人が伝道と奉仕を。

日本キリスト教団 横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電 話 045-833-5323
ファックス 045-833-6616
振 替 00290-4-13994

牧 師 秋 吉 隆 雄

見たい。人々から信望を集めた「ガリラヤの春」といわれる初期の伝道地のガリラヤ湖とその周辺の自然は二千年前と変わってはいまい。ベトロのキリスト告白がなされたフィリポ・カイサリア、パウロがローマに護送されたカイサリヤの港も興味深い。そして、最後の晩餐の後、イエス・キリストが弟子たちの「否認」を予告したオリーブ山も歩ける。そこから谷を隔てたエルサレムが見える。現在のエルサレムは幾度も戦火に崩れた上に建てられた町なので昔とは違う。又、後世に聖書のお話からこじつけて建てられた諸教会にはあまり関心がない。

イスラエルは国際政治力学の中で再建され、その後も先住していたバレスチナ人を虐殺・追放する形で国作りを進めた。イスラエル旅行を非難する見方も当然ある。私はバレスチナ人教会を訪ねたいと思っている。可能だと言う。11月13日か20日出発、12日間、30万円ほどかかる贅沢な旅行だが、聖書は身近になるだろう。日程が決まり次第、勉強会を始めたいと思う。

一 牧 師 室 か ら 一

教会は牧師の研修として「シナイ山とイスラエルの旅」を認めてくださった。本当に感謝である。旅行会社が打合わせに見え、原案を話し合った。教会員で参加希望者が既に十人くらいおられ、十五人以上いけば独自のツアーが組めるというので、磯子教会にも呼び掛けたいと思っている。

ユダヤ教は砂漠の過酷な風土の中から生まれた。私はその砂漠を体験したいと願っている。イスラエルは出エジプト後、40年間シナイ半島の荒野をさまざめた。モーセが神から十戒を授かったというシナイ山に登ってみたい。そしてバスを降りて砂漠をこの足で歩いてみたい。又、ヨシヤ王が申命記改革を遂行中、エジプトのパロ王と闘い戦死したメギトの丘（ハルマゲドン）の古戦場にも立って